

平成30年9月20日

IBC岩手放送 日本民間放送連盟賞 番組部門 テレビ報道番組 優秀賞 受賞

「庁舎は語る～大槌町 あの時なにがあったか～」

IBC岩手放送が平成30年5月に放送したテレビ番組「庁舎は語る～大槌町 あの時なにがあったか～」が、平成30年日本民間放送連盟賞・番組部門・テレビ報道番組において、**優秀賞**を受賞しました。

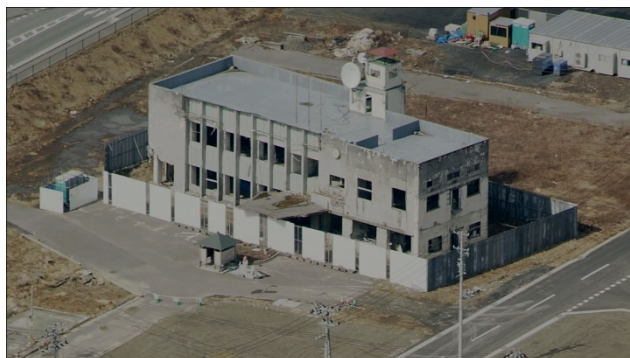
日本民間放送連盟賞は、番組、CM、放送技術の向上と、放送活動のより一層の発展を図ることを目的に、日本民間放送連盟（民放連）が1953（昭和28）年に創設した賞です。民放連の会員である全国の民放各社から参加のあった番組・事績を対象に毎年1回実施し、優れた番組、優秀と認められた事績を顕彰しています。

日本民間放送連盟賞 番組部門 テレビ報道番組 優秀賞

「庁舎は語る～大槌町 あの時なにがあったか～」

□プロデューサー／中村好子 □取材・構成・ナレーション／江幡平三郎

□取材／木下義則 □撮影／相澤雄仁 □編集／鈴木操



【写真】岩手県大槌町の旧役場庁舎（2018年3月3日撮影）

岩手県大槌町は東日本大震災の際、役場前に災害対策本部を設営し、町長を含む職員28人が津波の犠牲となった。「なぜ、役場前に災害対策本部を設置したのか？」「なぜ、避難に関する情報が発信されなかったのか？」。その疑問にしっかりとした答えが出されないまま、大槌町の旧役場庁舎は解体されようとしている。「2つのなぜ」にスポットを当て、そこから何を学び、何を後世に伝えるべきかを考えるドキュメンタリー番組。

□ 放送日時 平成30年5月31日（木）午前2時38分～午前3時32分

□ 受賞理由 原因と責任の所在はどこにあるのか。災禍を繰り返さぬために何をすべきか。対立の構図から多くの問題を提起し、何ができるかを考えさせる秀作。

（民放連HPより）

* 日本民間放送連盟賞の表彰は11月7日（水）に東京で開かれる民放大会席上で行われます。

* この件に関するお問い合わせ先：IBC岩手放送テレビ編成部 若槻 019（623）3143